

「親の力」をまなびあう学習プログラム

(通称:親プロ)

活用講座を開催しませんか？

「親の力」をまなびあう学習プログラム（通称「親プロ」）は、広島県教育委員会が開発した参加型学習プログラムです。身近なエピソードをもとにしたテーマに沿って、お互いの喜びや不安、悩みに共感し合い、日々の子育てを振り返りながら、「子どもとの関わり方」を考えていきます。

寄って
話して
自ら気づく

■ 「親プロ」講座の主催団体を募集しています！

廿日市市では、話し合いをスムーズに進めるための進行役・「親プロ」ファシリテーターを派遣しています。「親プロ」は、ファシリテーターの進行により、安心して気軽に交流できる雰囲気づくりをした上で、楽しく話し合いを進めていきます。子育てを応援する講座を開催してみませんか？

※ 「親プロ」ファシリテーターとは、廿日市市が主催の養成講座を終了し、広島県立生涯学習センターの発行する修了証を受け取った者です。

●講座：「親プロ」を開催するには？

対 象 (主催団体)	子育て支援に関心のある市内の団体など、どなたでも 〔 例：市民センター、子育て支援センター、学校、PTA、保育園、幼稚園、町内会・自治会、子ども会、企業、サークル、家庭教育関係団体 など 〕
受講対象者	今子育て中の親、これから親になる人、子育て支援者、子育て支援に関心のある人、地域の人、中高生たち青少年など、すべての人
定 員	少人数～30人程度
開催時間	50～120分（15分程度も可能）
経 費	ファシリテーターの謝金（5000円程度）・交通費は、主催団体に負担をお願いしています
準 備 等	参加者への広報、会場確保、設営など 講座の開催にあたり必要な物品（模造紙、マジック、ふせん、印刷物（教材）など） 〔 教材（ワークシート）は、広島県立生涯学習センター（ぱれっとひろしま）のホームページからダウンロードしてください。 〕
申込方法	廿日市市 HP にある「ファシリテーター派遣申込書」をメール、郵送、持参またはファクスで廿日市市教育委員会 生涯学習課に提出してください

廿日市市「親プロ」はこちら →



広島県立生涯学習センターはこちら
（ぱれっとひろしま「親プロ」のページ） →



やってみたいけど、むずかしいかも…と感じた方、
まずはお気軽にお問合せください。



子育てを応援する講座の開催に向けて、
みなさまからのご相談をお待ちしています



「親の力」をまなびあう学習プログラム（親プロ）

活用講座に参加された方の声を紹介します！

No.26 スマホ！うちではどうする？！（アレンジ版）

スマホ依存が増える中、スマホの取扱方法や、医療、療育の専門的な研修ではなく、親子の信頼関係の大切さ、家族がどう向き合えば良いのかを考えました。

時間が区切られていて、スマートに話し合いができて、楽しかった。

子どもの立場の話を聞くことができて良かった。

同じ悩みがある参加者の話からヒントがもらえて安心した。

子どもだけの問題ではなく、親の考え方が大切なのだと思える時間になった。

スマホを通して、親子関係が大事！と分かった。

家族でルールを決めて正しく使えば、写真の保存、調べものなどスマホは悪いことばかりではない。

No.24 かかわってみて・・・

～地域の大人ができること～（アレンジ版）

大野東市民センターで、R6. 6月から「こどもの居場所 @おおのひがし」を始めるにあたり、地域の大人としてできることを考え、学び、子どもを見守るメンバーの気持ち揃えをしました。

アイスブレイクでいろんなおもちゃで遊んで、忘れていた子どもの頃を振り返る良い機会になり、楽しかった。

今の子どもを知ることが大切なのだなと思った。

安心安全な場所と時間が必要なことが分かった。これから始まる「こどもの居場所」という素敵な取り組みにワクワクしている。

ファシリテーターの皆さんが終始笑顔で、リラックスして参加できた。

コミュニケーションの大切さを知った。

No.22 よりそってみて・・・

～子育て環境の変化を知る～（アレンジ版）

身近な地域の相談者（ママフレンド）として活動するために、個人の経験に基づいた関わりだけでなく、お母さんの声をしっかりと聴く姿勢（傾聴）について話し合いました。

話をしてみて、皆同じような考えが多いと感じ安心した。話ができて嬉しかった。

笑顔、思いやり、温かさ、傾聴、声かけ、目配り、気配り！

地域、世代の違う人と話すことで、色々な意見が聞け、大変参考になった。

今の子育て環境はコミュニケーションの場が少ないと皆思っていると感じた。

若い人の話が聞け今の子育ての状況や気持ちを知ることができた。

No.25 お父さんの子育てトーク！

～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～（アレンジ版）

「お父さんの子育てトーク（前度開催）」参加者や、お母さんたちから『お父さんの集まれる場を！！』とのリクエストを受け、もっともっと「お父さん」を楽しんでもらうために、日頃の奮闘や家族のルール・子育ての悩みなどを本音トークで楽しんでもらいました。

パートナーへの思い（負担を軽減してあげたい、不満など）共有し合えた。

2時間じゃ短くて話したりないくらい楽しかった。

一年前の講座で一緒だった方と再会できて、嬉しかった。

父親同士の励まし合いの場所が必要。また参加したい。

悩み事は、ママと同じだなあ。

正直、妻に勧められて断れずに参加したが、本当に来てよかった。

一人で悩み、妻と衝突することもあり、自分を責めることもあった。日々を振り返ることができ、参加者同士で喜びや悩みを共感できた。「みんな頑張っている」と感じる事ができた。



プログラム一覧表

全体のねらい：自他の子育てを振り返り学び合うなかで、親が「自ら気づき」「自らまなべる」力を高める。

段階	対象	教材番号	教材のタイトル
自分の親は 将来の自分 期 （子育て準備期） 自分の親子関係を振り返ったり、親となる自分を想像することで、これからの自分の生き方を考える	親はウルサイけど アリガトウ 編 （中学・高校生などの青少年対象） 親の立場を想像しこれまでの自分を振り返ることで、これから親となるであろう自分の生き方を考える	1	おぎゃーってスゴイ！ ～生まれてきた自分、やがて生まれてくる命～ 卵を自分の子供に見立て、命の大切さと、親として命に関わることの責任の重さを実感する。
		2	親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～ 自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。
		2-2 アレンジ 版	親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～ 自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。 アレンジ内容：中学生により身近な内容となっています。
		3	おや！ おや？ ～自分のあゆみと親のかかわり～ 「自分史」を作るなかで親との関係を振り返り、将来どんな親になりたいかを考える。
	自分が親に なるなんて 編 （まもなく親になる人対象） 生まれてくる命を育む責任を自覚し、パートナーと共に出産・育児を迎える自覚を深める	4	親になるって！？ ～命を授かる責任と喜び～ 子供のいる生活を想像し、親になる心構えを持つ。
		5	妊娠期のカラダとココロ ～パートナーの理解と協力～ 妊娠期の女性の体と心の変化を理解し、男女の相互理解と支え合いの大切さを考える。
		6	出産は初めの一步！ ～思い描こう、赤ちゃんのいる生活～ これから始まる子育て生活への心構えや態勢づくりについて考える。
		6-2 アレンジ 版	出産は初めの一步！ ～思い描こう、赤ちゃんのいる生活～ これから始まる子育て生活への心構えや態勢づくりについて考える。 アレンジ内容：エピソードを変更し、体験談をもとに話し合う内容となっています。
過ぎてしまえば 一番幸せ 期 （子育て前期） 子供がいる生活を受け入れるとともに、子供の成育の過程を余裕を持って楽しみ、子供をしっかりを受けとめる	ヘトヘトでも ニコリ 編 （0～2歳児の親対象） 命を守る責任を自覚し、育児書などマニュアルにしがたれない自分らしい子育てをすることに自信を持つ	7	私の時間、子供の時間 ～つくってますか？心のゆとり～ 多忙な育児のなかで心にゆとりを持てるよう、上手な時間の使い方について考える。
		8	お付き合いって難しい？！ ～「私と周り」の人間関係を考える～ 自分と周囲の人間との関係を良好にすることについて考える。
		9	ワイワイ、キャーキャー！！ ～「子供と遊び」について考える～ 情報や意見を交流し、子供を豊かに育む遊びについて考える。
	クタクタでも ワッハッハ 編 （3～6歳児の親対象） 子供の体と心の育ちにとって必要な要素を考えると、今の子育ての状況を楽しめるような心の余裕を持つ	10	買って買って！！ ～さあ困った！あなたなら～ 子供の気持ちを受けとめる親の役割の大きさについて考える。
		10-2 アレンジ 版	こんな時、どうする？ ～子供の気持ちを受け止める～ 子供の気持ちを受けとめる親の役割の大きさについて考える。 アレンジ内容：エピソードを変更し、新たな場面に対応した内容となっています。
		11	〇〇ちゃんがするっ！！ ～自我の芽生えと親の思い～ 子供の思いに寄り添い、自主性を伸ばすために、親がどう支援すれば良いかを考える。
		12	もうすぐ小学生！ ～これまでの子育てを振り返る～ これまでの子育てを振り返り、これからの育て方を考える。
		12-2 アレンジ 版	もうすぐ小学生！ ～期待と不安の中味とは？～ 新入学に向けて親が抱えている子供への期待と不安を整理し、親子で取り組めることについて考える。 アレンジ内容：小学校入学前に親が抱く子供への期待と不安を整理できる内容となっています。
	ワクワク ・ドキドキ 編 （小学1～3年生の親対象） 子供を多様な価値観で受けとめ、自ら伸びようとする芽を見つけて、成長を支援する	13	親子でやってみよう！ ～楽しい小学校生活を過ごすために～ 子供が新しい環境に慣れ、小学校生活を楽しく過ごすために、親子で取り組めることについて考える。
		14	くらべないで！ ～同じ子供なんて一人もない～ 他の子供と比べることの功罪を考え、自分の子が持つかけがえない価値を再認識する。
		15	みなおして！ ～多様な視点から子供を見る～ 多様な視点から見ることで、心に余裕が生まれることに気づく。
親子で登る 自立の坂道 期 （子育て後期） 子供の成長を見守り、受け入れるなかで、親も共に成長しようとする姿勢を持つ	子が親離れ していく 編 （小学4～6年生の親対象） 子供の心身の変化を理解し、子供の主体性を伸ばす親のあり方について考える	16	体と心の変化 ～子供の思い、親の戸惑い～ 子供の成長に戸惑う自分自身を見つめ直し、自立しようとする子供の気持ちを理解し支えることについて考える。
		17	どうする？ どういう？ ～子供の人間関係へかかわり～ 子供の交友関係への親の適切なかかわり方について考える。
		18	さあ、どっち！？ ～信じる、見守る、待つ、聞く～ 反抗期等多感な時期の子どもとの接し方から、親子のより良いコミュニケーションの取り方について考える。
	親が子離れ できない 編 （中学生・高校生の親対象） 子供が自立しようとすることを受け入れ、支援するとともに、親自身の子離れについて考える	19	思い出してみて… ～私にもあった青春時代～ 自分の青春時代を思い出し、子供の思いに寄り添いつつ言葉を届ける術を考える。
		20	キャッチボールは得意ですか？ ～気持ちをつたえる 胸の真ん中でうけとめる～ 進路選択を巡る親子のロールプレイをとおして、子供と気持ちを通じ合うことの難しさと大切さを学ぶ。
		21	ほどよい距離感って？ ～子供の自立と親の自立～ 子供の自立を適切に支援できるような、親の接し方について考える。

段階	対象	教材番号	教材のタイトル
再び子育て、そして親育て 期 （子育て支援期） 自分の体験をもとに若い親たちを支援しつつ、共に学ぶ意欲を持つ	『いまだきの親は』なんて言わない 編 （中高年などの子育て支援者対象） 現代の子育て環境の状況を学びつつ、若い親の子育てを支援する	22	よりそってみて… ～子育て環境の変化を知る～ 子育て環境の時代変化を知り、現代における子育て支援について考える。
		23	たちどまってみて… ～こんな場面で、あなたなら？～ 子育て中の親子へのわりについて意見交換し、適切な支援のあり方について考える。
		24	かかわってみて… ～地域の大人ができること～ 子供の豊かな成長を促す場をつくるために、地域の大人として何ができるかを考える。

【テーマ別に開発した教材】（多様化する現代的課題に対応した新規開発教材）

対象	教材番号	教材のタイトル
乳幼児～高校生の父親	25	お父さんの子育てトーク！ ～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～ 父親として子育てにかかわることの楽しさを語り合い、自分なりにできることを考える。
小学生～高校生の親	26	スマホ！うちではどうする？！ ～考えてみて、わが家流のつきあい方～ 子供のスマートフォン利用実態について話し合い、どうすれば子供がスマートフォンと上手に付き合うことができるかを考える。
小学生～高校生及びその親	26-2 アレンジ版	スマホ時代の子供たち ～身につけたいスマホリテラシー～ デジタル社会の中で、インターネット、スマートフォンを始めとするデジタル機器、SNSなどのコミュニケーションツールの適切な利用法について考える。
子育て期の親、働く人など	27	向き合ってみて… ～「仕事」と「子育て」の調和のために～ 仕事と生活（子育て）の調和を図り、子供や家族と向き合うことの大切さについて考える。
まもなく親になる人、 0～3歳児の親子	28	おひざにだっこでおはなししましょう ～絵本をひらいてみませんか？～ 読み聞かせの体験等を通して、子供に対する読み聞かせの大切さを感じ、自分の子育てに取り入れるきっかけとする。
	29	おひざにだっこでおはなししましょう ～読み聞かせ、どうしてる？～ 読み聞かせの悩みや工夫などの交流を通して、自分の読み聞かせを振り返るとともに、それぞれの実情に応じて、これからの読み聞かせに生かそうとする。
中学・高校生などの青少年	30	地域ぐるみで子育て！ ～親の立場で考えてみよう～ 子育ては親だけで行うものではなく、地域には助けになる施設や人の存在があることに気付くとともに、自分が大人になったとき、親あるいは地域社会の一員として子供とどう関わり、子供をどう育ていくかを考える。
	31	あなたならどうする、どう考える？ ～親として、地域の一員として～ 将来自分が大人になったとき、どのように子育てや子育て中の親に関わっていきたいかを話し合い、親あるいは地域社会の一員として、子供や親と関わっていくことの大切さについて考える。

【親子コミュニケーション応援編】（子供の気持ちに共感した接し方、コミュニケーションの方法を具体的に考える教材です。）

概ね2，3歳～6歳児の親	コ-1	「ちゃんとしてね！」で伝わってる？ 曖昧な表現では子供に伝わらないマンガを通して、子供の気持ちに共感した具体的な言葉かけや対応について考える
	コ-2	ほめて“楽”に子育て ～悩むの中止で注視しよう～ 魔法の虫メガネで子供を見るマンガを通して、子供の気持ちに共感し子供の良いところを見つけてほめることの大切さについて考える。
	コ-3	待つ門には福がくる！？ 支度する子供を父親が根気強く待つマンガを通して、子供の主体性を尊重し自分でできるよう待つことの大切さについて考える。
	コ-4	いきなりどなっていませんか？ 親が子供を一時的にどなるマンガの場面を通して、まず子供の気持ちを受け止め、伝えていくことの大切さについて考える。
	コ-5	備えあれば怒りなし！？ お店での行動を「約束」してから行くマンガを通して、事前に説明したり約束したりすることの大切さについて考える。
	コ-6	指示より支持してみよう 子供が自分で考えたり、試したりする行動を父親が見守るマンガを通して、見守ることの大切さについて考える。

【短時間でできる教材】（乳幼児の親を対象として「サイコロ」や「カード」で楽しく学べる教材です。15分程度）

0～2歳児の親	ミニ-1	みんなどうしてる？ ～親編・親の生活編・子供の生活編～ 乳幼児期の子育てに関するテーマについて話し合うことで、親同士が結びつくきっかけをつくるとともに子育てを振り返る機会とする。
	ミニ-2	デジタル時代の子育て ～スマホの使い方 みんなどうしてる？～ スマートフォン等のデジタル機器の見せ方や遊ばせ方について話し合い、スマホ時代の子育てについて考える。

問い合わせ先

廿日市市教育委員会 生涯学習課

電話：（0829）30-9203

〒738-8501 廿日市市下平良一丁目11番1号

ファクス：（0829）32-5163